

# ほとけの混和会だより

平成二十五年度二月  
東光院  
仏の混和会  
第95号

一月二六日〜二七日  
比叡山の寒行に  
参加して参りました。



寒行に参加して

鈴木英夫  
インターネットの掲示板に「人生に疲れ果てて旅に出ます。行き先は比叡山延暦寺。座禅と写経をします。」と載せたところ様々な反響が寄せられました。「どうしたのですか?でもたまにはイイですね!私も行きたいです。」「延暦寺いいですね。私も行きたいです。」「お疲れ様です。ヨ( )ヨお氣をつけて、いつかは行ってみたい」などのコメントを頂きました。

このように現代人には日常生活から離れてこういう体験をしてみたいという要求が心の中に潜んでいるようなコメントでした。さて今回私がこの寒行に参加するのは三回目になります。

一回目を見るもの食するもの経験するものが初尽くしでした。新鮮な驚きの連続で緊張と興奮で過ぎた記憶がありました。二回目は一回目では見過ごしていたことや新しい発見など注意深く観察することができました。そして今回の三回目は段取りや行程がすべて分かった上なので少し心に余裕が生まれ、座禅の意味を考えたりや法話をじっくり聞くことが出来たような感じでした。

座禅することによって「自分を見つめなおす」という言葉をよく用いますが分かったようで分からない言葉ですね。根本中堂では、赤松導師に導かれ約三〇分の座禅止観が行われ、その後の法話が「自分を見つめなおす」ということを的確に表現されたように思えました。



君は大事な所に気づいたね、所内」と言って、世間から追いやられた鬼を招き入れて、甘い酒やご馳走を接待する所も有るのじゃよ、  
「鬼」と言うと、牛のように角を生やし、虎のパンツを履いて、様々な災いをもたらす「悪い物」「恐ろしい物」と言うイメージがあるけれど、私達の受け止め方に寄っては、鬼も善人になったり、鬼のもたらす失敗や災いが起因して人生の大きな導きを得る事もあるのじゃよ。詩人の、をさはるみさは次のように謳ってるよ。

わたしが  
わたしの失敗も必要で  
人生の失敗も必要で  
悲しみも骨折れも  
わたしはがわたしになれた  
みんなあなたのおかげです  
恩人達に手を合わせ  
ありがとうございます  
ひとりごと  
鬼のもたらす失敗や災いのお陰で、己の中にある、他と比べない、あるがままの眞の自分を見て出すことが出来ました。と言って鬼のもたらした災いに感謝しているのですね。

鬼とは、欲の鬼、怒りの鬼、愚痴の鬼、この三つの鬼の心に寄つて、己自身が鬼と化して迷っている事が多々あるのじゃよ。

人々は、己自身が招いている災いや過ちに気が付かず、その責任を他の人や、方向が悪いとか、先祖様が迷っているからなどと、他に責任をなすりつけて事の解決と、一時の安心を得ようとするのじゃが、それでは根本的な解決には成らないのじゃな。己の中に住んでいる鬼の心によってもたらした失敗や災い、更に過ちなどの経験と導きを受け止めて、素直な懺悔と感謝の念を抱く事が出来れば、その経験が生かされて、人の痛みの解る慈愛心が芽生え、大きな福をもたらす事が出来るのじゃよ。

簡単に言えば、鬼のお陰で大きな気づきを得る事が出来るから内のお寺では「鬼は外」とは言わないのじゃ、鬼の存在に感謝する事なんじゃよ。同じような話で、福の神とお話があるよ、それは何の自由の無い生活には、幸福も向上心も得られずに不満や愚痴ばかりがでてしまうのじゃが、一時でも不幸を経験すると、普段の幸福感や、共に生きられる事の安心などの気づきを得る事が出来るのじゃよ。鬼も、貧乏神も、私達に大きな気づきと慈愛心を与えて下さる存在なんじゃよ。

## 春彼岸法要のご案内 3月20日(水曜日)午後1時より

善因の功德を巡らして参りたいと存じます。  
皆様のお参りお待ち申し上げます。

本年度は、車の混雑緩和の為、午後のお勤めと成りました。  
詳細はお電話で 0476-46-2471



## お釈迦様の誕生会 はなまつり

4月7日(日曜)午前10時30分より

今年も、ふくちゃん先生が来て下さいます。  
みんなで楽しく遊びましょう。



また会館  
小林住職  
の法話では  
「如来」と  
「菩薩」の話が出てきました。  
如来とは何?菩薩とは何?その関係は何?の状態を話聞いているとどうやら如来は菩薩の上に位置する関係で人間は菩薩を指すものであることらしい。人の痛みや苦しみに共感でき救っていただけらしい。どうやらしっかり理解するには自分で調べてみる必要がありそうです。昨今の「いじめ問題」はこの菩薩の心が喪失したところに問題があるようです。  
人の痛みや苦しみに無頓着でゲーム感覚でいじめを面白がることに起因をしている。  
テレビのお笑いを見ても痛がったり、熱がったり、苦しんでいるところを面白がる風潮に思えてしょうがない。

## 2月3日節分会が 執り行われました。



学校である程度の宗教心を教えることが必要なことに思えます。  
今回は法話を中心に考えることが出来き、とても貴重な体験でした。今回の寒行を段取りから手配までそしてこのような縁を結び付けていただいた住職に深く感謝いたします。  
合掌

ねーねー、お坊さん  
普通は「鬼はー外、福はー内」って言うでしょ  
お坊さんのお寺では、何で「福はー内、福はー内」と言ってる「鬼はー外」って言わないの?